

月刊 MARUSHO

2019年 6月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



世界に一つだけのグッズが簡単に作れます

あらゆる材質
形状への印刷なら
PAD印刷に
おまかせあ〜れ

自社製品をお客様に宣伝するとき、製品そのものを配って
使っていただくのが一番良さが伝わります。

ただ、配っても箱や袋から出してしまえば、

どこの会社の製品かわからなくなってしまうのもしばしば。

それならば直接製品に商品名や社名を印刷して

アピールしてみてもいいかがでしょうか？

PAD印刷って知っていますか？

知る人ぞ知る PAD (パッド) 印刷。シリコンパッドにインクを転写し、ハンコを押すように印刷する方法です。シリコンパッド自体が柔らかく変形するため、立体物、凹凸があるもの、球体などにもフィットして、どんなものにも印刷可能です。

また、インクも速乾性の高い特殊なインクを使用しているため、ガラス・石材・ゴム・金属など素材も選びません。

すでに完成したものに印刷可能なのが、PAD 印刷の一番の特徴です。自社製品をサンプル用に別注で作ることなく、特徴を最大限活かして今あるものに印刷することでコストも抑えられます。ノベルティに困った時は、この方法でさりげなく自社製品をお配りしてみてもいいかがでしょうか？

過去の使用用途は・・・

- おススメのゴルフボール・お気に入りのマグカップにロゴ入れ
- 自社製品（完成品）に「サンプル」印字、ノベルティ用に社名印字
- 化粧水が入っている瓶に「試供品」と印字
- お線香に戒名を入れたい
- 米つぶに広告印刷



令和元年におかげさまで祝5周年

丸庄の印刷通販サイト「まるイロ」は5月1日に、5周年を迎えました。

まるイロとは、丸庄が運営する印刷通販サイトのこと。他の印刷通販サイトと大きく違うところは「相談できる印刷通販」だということです。

丸庄の営業担当やスタッフに通販仕様外の案件やご要望など、直接相談することができるだけでなく、企画アイデア・デザインもご相談にお応えできるという大きな強みがあります。

印刷通販特有の発注しやすいメリットと印刷会社のフットワークの軽さという両方の良いところを取り入れて、常にお客様のお仕事をスムーズに進めるお手伝いをさせていただいております。5周年を迎え、日々お客様のご要望にお応えできる印刷サイト作り・サービスを提供して参りますので、これからも「印刷通販まるイロ」を宜しく願いいたします。まだ、利用されたことのないお客様は告知されていないキャンペーンも多数ございますので、この機会にぜひご利用ください。

丸庄情報だけでなく、北千住・足立区のお得な情報をFacebookで掲載しています。

励みになりますので、皆さんの

いいね! をお待ちしております!





かさの豆知識

梅雨の時期の必需品と言えば、「かさ」ですね。日本は年間降水日数のランキングは世界13位ですが、35カ国中傘の所持数は世界が2.4本に対して、3.3本と世界トップなんだそうです。今回は、雨をしのぐだけではない色々な「かさ」について、お話ししたいと思います。



印刷屋さんの「かさ」

印刷屋さんでお馴染みの「かさ」と言えば、「嵩高紙(かさだかし)」が有名です。この紙は銘柄のことではなく、「コート紙」、「上質紙」のような種類に該当する名前です。

主な特徴は見たままですが、「嵩が高い紙」のことを言い、従来の紙と比較すると、紙繊維の密度が低く、軽い割りに厚みのある紙です。厚さの割に軽いので、同じ厚さの紙よりもコストが安く抑えられるのが最大のメリットです。※風合いは素朴なものが多く、ページ数を多く見せて付加価値をつけたいカタログ、単純に発送費用を抑えたいとき、他にも持ち歩いて読んでもらいたい書籍などに使われることが多いです。



デメリットとしては、密度が低い分インキが沈んでしまうため、色味が重く仕上がります。ただ、これらの特徴を理解した上でデザインすれば、素敵な冊子が出来上がりますよ。サンプルを見てみたい方は営業担当までご連絡ください。

ビニール「かさ」の歴史

急に降り出したとき、ビニール傘を買ったことがある人は多いと思います。このビニール傘、元々は幕府御用達の和傘問屋だったというホワイトローズ株式会社(東京都台東区)が昭和33年にその原型を完成させました。

昭和20年代、当時主流だった「綿傘」は、染色技術の未熟さゆえ、「色落ち」の苦情がたえませんでした。そこで、ホワイトローズ株式会社は、進駐軍が持ってきたビニールのテーブルクロスにヒントを得て、傘をまもるためにビニールの「傘カバー」を開発し発売。これが飛ぶように売れたそうで、現在のビニール傘開発の発端になりました。

その後、時代は科学技術・新素材開発の昭和30年代を向かえ、合成樹脂繊維を代表する「ナイロン」の誕生により、雨傘の大量生産を望むマーケットの要素は一変します。この変化により、ビニール傘カバーの需要がなくなると、ホワイトローズ社は、いよいよカバーではなく、ビニール傘の開発に取り組んだそうです。

発売当初、ビニールを張った傘は当時の時代認識との差があったのか、一般的には、なかなか受け入れられませんでした。その後、1964年、東京オリンピック観戦のために来日したアメリカ人バイヤーに注目され、量産化がスタート、ニューヨークで販売されることに…。しかし、その後は、海外生産品との価格競争により、アメリカで売れなくなったため、日本国内にターゲットを絞り、上野や銀座界隈で売り出したことがきっかけで、全国に広まることとなりました。

ちなみに、昭和40年代に売り出されたビニール傘は、シルクと同じくらいの高級価格でした。また、様々な色や柄が印刷できるということで、最先端のファッションアイテムでもあったようです。

ニッチな情報を毎週水曜日配信中心! ▶ [週刊marusho](#) [バックナンバー](#) [SEARCH](#)

パッと広がりコンパクトに収納できて携帯に便利!

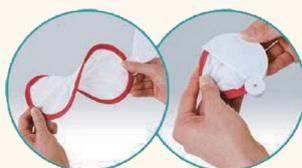
コンパクトファン

ひねって折り畳んで収納すると手のひらサイズに収まるうちわです。他のうちわと異なり繰り返し使えてとってもエコです。これからの暑い季節にぴったりの定番ノベルティに少し差をつけてみてはいかがでしょうか?

今なら**6月中にご注文**いただいたお客様を対象にデザイン制作からの場合は**表示価格より10%**印刷のみの場合は**5%割引**致します。この機会にぜひご注文ください。

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131 (代)



8の字にひねってハンドル部分に収納



パインピングカラー

5色の中からお選びいただけます。

- レッド
- スカイブルー
- グリーン
- ネイビー
- ピンク

名入れ部分

印刷サイズ: 100mmφ
フルカラー印刷

コンパクトファン

500個

¥356,000
(@712)

サイズ: W200xH240mm
カラー: 5色
最少ロット: 500個
最短納期: 14日